

Information of Kagamifuchi

2026. 7. 8 新潟市立鏡淵小学校

7月1日 全校朝会 校長講話より

一人一人に合った学び

今日から7月。あと3週間で、皆さんが楽しみにしている夏休みになります。今月も、自分が決めた「めあて」に向かってがんばっていきましょう。

今日は、「一人一人に合った学び」についてお話しします。この絵を見てください。

(一人一人に応じた支援の大切さをイメージしたイラスト ~子どもたちが木製フェンス越しに野球の試合を見ようとしている場面 ~ を提示)

去年の7月の全校朝会でも映しているのですが、「ああ、あの絵だ」と思っている人もいますね。「にこ森班」のみんなで野球の試合を見に行くとします。3人の子が、試合を見ようとしています。目の前には高いフェンスがあります。背の高い高学年の子は、そのままでも試合がよく見えます。でも、中学年の子は少し見えにくくて、低学年の子は、ほとんど見えません。

3人とも「見たい」という気持ちは同じです。楽しみにしている気持ちも同じです。



そこで先生は、3人に箱を渡しました。最初は、3人に同じ箱を1つずつ渡しました。背の高い子は見えますが、低学年の子は、それでもまだ見えません。

そこで今度は、一人一人に違う数の箱を用意しました。高学年の子はそのまま。中学年の子には1つ。低学年の子には2つ。すると、3人とも同じように野球の試合を見ることができました。この絵は、「一人一人に合ったやり方をする」との大切さを教えてくれています。

学校でも同じです。皆さんは一人一人違います。得意なことも、苦手なことも違います。勉強の進み方も、分かりやすい方法も違います。だから、先生たちも「皆さん、一人一人に合った学び」を大切にしています。

鏡淵小学校には、4つの「ひだまり学級」があります。担任の先生は、「ひだまり」の愛称のとおり、子どもたちの思いに寄り添いながら、一人一人に合ったペースでの学びや生活を大切にしています。教室では、「できた！ 分かった！」「すごいね。がんばったね」といった声がたくさん聞かれます。できることが増えると、嬉しくなります。その嬉しさが「またやってみよう」という気持ちにつながります。一人一人が安心して、自分の力を伸ばしていく教室、それが「ひだまり学級」なのですね。

通級指導教室～まなびの教室、ことばの教室、きこえの教室で学んでいる友達もいます。通級の教室でも、子どもたちは、普段の学年の教室と同じように「もっと分かりたい、もっと上手になりたい」という気持ちをもちながら一生懸命に学んでいます。自分に合った練習をしながら力を高め、その力を普段の学習や生活でも生かしています。

また、通級の先生をはじめ、多くの先生たちが「読み名人」「ジョリーの時間」「かっこいい1年生になろう」「小さい子とのかかわりについて」などの授業をしてくださっていて、私は、とてもありがたく思っています。

県立がんセンターの中にある院内学級「ひまわり学級」では、お医者さんや看護師さんと一緒に病気の治療をがんばっている子どもたちが勉強をしています。その日の体調をもとに、学校の先生、お医者さん、おうちの方と相談しながら教室やベッドサイド、ときにはリモートで学習をし、できることを一つ一つ積み上げてきています。

院内学級の先生たちは、治療の進み具合や本人の体調、そして、「学びたい」「友達と一緒にがんばりたい」という思いを第一に考え、指導をしています。お医者さんも、「治療をがんばっている子どもたちにとって、『ひまわり学級』は、とっても大切な場所です」とおっしゃっています。



このように、鏡淵小学校には、いろいろな学びの場所がありますが、目指していることは同じです。

それは、一人一人の子に合ったやり方で学ぶことです。この考え方を鏡淵小学校全体で大切にしています。1～6年生の担任の先生も、ひだまり、通級、院内の先生たちと相談し、皆さんの「できた！分かった！」という姿を思い浮かべながら、いろいろな工夫をしています。

一日の予定を知らせる、「話の聞き方の約束」をよく見える場所に貼る、学習道具の整理整頓の仕方を示す、椅子のガタガタした音を出さないようにするなど、皆さんが学習しやすいような教室にしています。

また、先生たちは、「どう伝えると、子どもたちはよく分かるかな」「子どもたちにとって、もっといい方法はないかな」「子どもたちは、自分に合ったやり方を選べそうかな」など、いろいろなことを考えながら日々の授業をしています。

「みんなちがって、みんないい」という言葉があります。友達と比べるのではなく、自分のペースで学び、成長していけばいいのです。友達が自分とは違う学び方をしているとしても、「その人その人に合ったやり方でがんばっているんだな」と思えることが大切です。

一人一人、大切な違いがあります。「自分を大切にする」「友達も大切にする」その両方ができる鏡淵小学校を、これからもみんなと一緒につくっていかたいなと思っています。